

今月の泰明 7月

国際理解教室

7月12日(木)に国際理解教室を開催しました。この日は、田尻敬太様とチンゲルト様をお招きし、モンゴルの文化について学びました。

まず、田尻様からモンゴルの馬頭琴演奏者であるチンゲルト様の紹介がありました。モンゴルでは日本と同じように四季があること、冬はマイナス40度～50度になること、日本と違って名前の中に名字がないこと等を聞き、子どもたちは驚きと興味をもった様子でした。

つぎに、馬頭琴という楽器の説明をしてくださいました。馬頭琴は、馬のしっぽ等を使って出来ていて、馬に乗るように、また、馬をおさえるように楽器を扱って演奏するとのことでした。「のぼる太陽」等の曲に合わせ、子どもたちは興味深そうに聴いていました。途中、弦を押し上げるように弾く独特な左手の力強く細かな動きの様子を見せてくださいました。

つづいて、モンゴルでは母に感謝する曲である「白髪のお母さん」という静かな曲を演奏してくれました。演奏中、子どもたちは皆目を閉じて、とても落ち着いた様子で聴いていました。

そして、国語の教科書にも載っている「スーホの白い馬」を高学年代表児童による朗読に合わせ演奏してくれました。代表児童による朗読は素晴らしく、皆シーンと聞き入っていました。その朗読にあわせ、鳴り響く馬頭琴の音色は、まさにスーホと白馬たちの世界に入り込むような迫力でした。朗読が終わると子どもたちから大きな拍手が起こりました。

この活動を通し、モンゴルの文化に親しむとともに、子どもたちにとって、日本人としての自覚と誇りを感じることができた有意義な時間になりました。

